

▷ 大川念仏踊り(だいせんねんぶつおどり)(7月中旬)

(まんのう町)

■ 7月中旬 午前大川(だいせん)神社 午後中通(なかとう)八幡神社、新生(しんせい)の龍王社、天川(あまかわ)神社 問い合わせ 大川念仏踊保存会



毎年旧暦の6月14日に行われる雨乞いの踊りとして大川神社の氏子たちによって踊り継がれてきました。

天平6年(734年)、諸国大干ばつの時、国司が雨乞いの祈願をしたところ、祠の前から一匹の白蛇がはい出し、竜に変わって天に昇り、大雨を降らせました。人々は喜び鉦(かね)を打ち鳴らし踊り狂い、それ以来、大川神社は雨乞い祈願の神として人々の信仰を集めたと伝えられています。

日照りが続くと、多いときは一年に3回も4回も踊り、そのたびに多少なりとも雨が降ったと言われています。現在は大川念仏踊保存会が結成され、町の無形文化財に指定されています。(県指定無形民俗文化財)